

余り苗でのいもち病の発生がやや多い

～ 余り苗は直ちに泥の中に埋めてください ～

1 現在までの発生状況と今後の発生予想

- 1) 6月16日から20日までの余り苗調査（86地点、3,233ほ場）の結果、放置ほ場率は12.3%（平年9.7%）で高かった。余り苗におけるいもち病の発病地点率は12.8%（平年8.6%）でやや高く、特に、県中央部では20.7%（平年9.4%）で高かった（表-1、図-1）。
- 2) 微気象観測では、6月19日に県南部で葉いもちの感染に好適な気象が観測され、県北部・由利本荘市では準好適な気象が観測された（図-2）。
- 3) 以上のことから、本年の全般発生開始期は平年（7月6日）より早まり、6月6半旬になる可能性がある。発病した余り苗は葉いもちの伝染源になるため、早急に以下の防除対応をおこなう。

2 防除対策

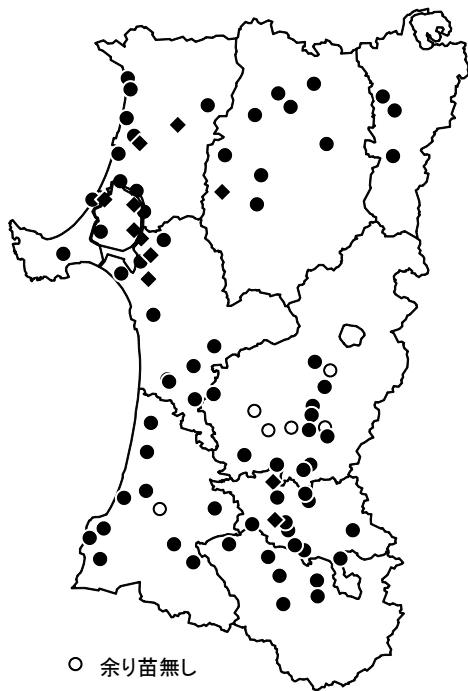
- 1) 本田や畦畔に放置された余り苗はいもち病が発病しやすく、葉いもちの伝染源となるため、いもち病の発病の有無にかかわらず、直ちに泥の中に埋めて処分する。本田に放置された余り苗は根が張っているため、手で抜けない場合はスコップ等で掘りおこして確実に埋める。
- 2) これまでに葉いもち防除を実施していない場合は、直ちにオリゼメート粒剤を2kg/10a散布する。
- 3) ほ場を巡回し、余り苗や本田での発病状況を確認する。余り苗や本田で発病している場合は、これまで使用した葉いもち防除剤の防除効果が十分に発揮されていないと考えられるため、直ちにブラシン剤又はノンプラス剤の茎葉散布を行う。その後、必要に応じてビーム剤を追加で散布する。

3 資料

表-1 余り苗の巡回調査結果(6月16～20日)

	調査 地点数	調査 ほ場数	余り苗 放置ほ場率	いもち病 発病地点率	いもち病発病ほ場率	
					全ほ場	放置ほ場
県北部	23	942	11.8 (9.6)	13.0 (9.7)	0.43 (0.30)	3.6 (3.1)
県中央部	29	1,001	16.8 (10.4)	20.7 (9.4)	1.00 (0.31)	6.0 (2.6)
県南部	34	1,290	9.3 (8.9)	5.9 (7.3)	0.16 (0.23)	1.7 (2.6)
全県	86	3,233	12.3 (9.7)	12.8 (8.6)	0.50 (0.28)	4.0 (2.9)
概評			多	やや多	多	やや多

()は平年値



- 余り苗無し
- 余り苗有り
- ◆ 発病あり

図-1 余り苗調査 (6/16~20)

●:好適 ○:準好適 ×:非好適

月/日	北秋田市	三種町	秋田市	由利本荘市	大仙市	横手市
6/10	○	×	×	×	○	×
6/11	×	×	×	×	×	○
6/12	○	○	○	○	×	●
6/13	×	×	×	×	○	×
6/14	×	○	×	×	×	×
6/15	○	×	×	×	×	×
6/16	○	○	×	×	●	○
6/17	×	×	×	×	×	×
6/18	×	×	×	×	×	×
6/19	○	○	×	○	●	●
6/20	×	×	○	×	○	×
6/21	×	×	×	×	×	×

図-2 微気象法による水稲いもち病感染好適判定結果 (6月21日現在)

フサライド・トリシクラゾールの総使用回数に注意

ラブサイド剤の成分であるフサライドの総使用回数は「3回以内」、ビーム剤の成分であるトリシクラゾールの総使用回数は「本田では3回以内」です。農薬は使用のつど帳簿に記載し、ラブサイド剤、ビーム剤及びその混合剤（ブラシン剤等）を使用するときは各成分の総使用回数を超えないよう計画的に使用しましょう。

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326
 掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>